



サポーター
今回は、アーツ前橋のサポーター活動を紹介します。サポーターとは、アーツ前橋の企画や施設運営を、ボランティアでお手伝いする人たちのことです。昨年度から活動しているサポーターは、休日などを利用して、それぞれのペースで参加しています。具体的には、図書資料の整理やイベントの会場設営、来館者対応、広報物の発送作業、地域アートプロジェクトの作品制作補助などを行っています。これからも集まってきたサポーターの経験や知識、アイデアを生かして活動は広

サポーター

アーツ前橋探検

vol.4



がっついていきます。

サポーターの楽しみは、活動を通してさまざまな年代の人たちと交流できることです。また、アーティストと直接触れ合いながら作品を作り上げる現場に立ち会うなど、来館者としてだけでは分からないアートの醍醐味を味わえます。さらにアーツ前橋では、館外の地域を舞台にした地域アートプロジェクトも行っています。サポーターになると、前橋の文化や歴史、景観などを再発見する機会があるかもしれません。

今後は、7月20日(土)から始まるアーツスクールSコース「アーツ前橋を裏側からつくる」で、サポーターのオリエンテーションと研修を行います。興味のある人は、まずは気軽に参加してください。これから集まってくる一人一人によって、アーツ前橋のサポーターは形づくられます。仲間たちと一緒に、アーツ前橋の裏側から、もしくは最も近いところから、前橋やアートの魅力を体感してみませんか。

問い合わせは
アーツ前橋 ☎027-2300-1144

世界の舞台での競技が楽しみ



世界ユース陸上競技選手権大会棒高跳びに出場

高木 亮さん 17歳
石倉町一丁目

今月10日から14日まで、ウクライナで行われる世界ユース陸上競技選手権大会に日本代表選手として出場。現在、世界トップレベルの選手と熱戦を繰り広げている。

「世界ユースに出場することが決まったときは、それほどでもありませんでしたが、代表のユニフォームをもらってからは、実感が湧いてきました。不安や緊張もありますが、楽しい気持ちの方が強いですね。きつと一生に一度しかできない経験だから。棒高跳びに限らず、世界のトップレベルの選手たちと一緒に競技ができるのも嬉しいです」

棒高跳びに興味を持ったのは小5のとき。日本記録保持者の澤野大地さんをテレビで見たのがきっかけだ。「ストリート棒高跳びというデモン

トレーションで、澤野さんが信号機と同じ高さのバーを跳ぶ姿が映っていたんです。それを見てすごいな、自分もあんな風に跳びたいなと思って」

中1から競技を始め、平日はもちろん、土日曜も1日3時間以上の練習を欠かさない。

「毎日練習していて、きついと思うこともありますが、でも、練習した分結果が着いてくるので、この競技は楽しいです」

現在、前橋育英高の3年。先月15日に行われた北関東高校陸上、男子棒高跳びで優勝し、今月30日から行われるインターハイにも出場する予定だ。

「インターハイでは、優勝することが目標です」

国内でも、世界の舞台でも大一番に挑む。朗報が届くのを楽しみにしている。



横浜で農産物トップセールス

横浜市中央卸売市場で7月5日、前橋産農産物のトップセールスを行いました。山本市長とJA前橋市・大澤組合長を中心に、元気よく、安全安心でおいしい野菜をPR。茹でた枝豆の試食も行い、多くの人に前橋産農産物の魅力を伝えました。



ホテルの飼育を熱心に発表

6月22日、元総社北小でホテルまつりを開催しました。児童が育てたホテルの観賞のほか、太鼓の演奏や打ち上げ花火なども実施。ホテル委員会の児童による、ホテルの飼育や牛池川に関する発表では、多くの来場者が興味深く聞き入っていました。



まちなかで学生合同の学園祭

中心商店街で6月22日、MAEBASHI合同学園祭が開催されました。市内の大学や短大、専門学校が合同で出店やイベントを実施。ファッションショーでは、学生がデザインしたファッションに観客から「かわいい」などの声が上がっていました。



七夕飾りがまちなかを彩る

7月4日から7日まで、七夕まつりを開催しました。工夫を凝らして作られた個性あふれる七夕飾りでまちなかは色鮮やかに。赤城の恵ブランド認証品などが楽しめる農涼祭in七夕やアーツ前橋プレオープン展示も同時開催。多くの人でにぎわいました。

